**珪藻学会第35回研究集会（日光）プログラム**

期日　2015年11月7日（土）・8日（日）

会場　日光交流促進センター「風のひびき」(栃木県日光市所野1541-2854)

学会会長　　南雲 保

大会世話人　珪藻ゼミ

**第1日（11月7日（土））**

12:00　受付開始（交流促進センター入口）

13:00　開会　学会会長挨拶、大会幹事挨拶

**＜シンポジウム「外来珪藻」＞**

13:10　シンポジウム開催挨拶：座長　真山茂樹（東学大・生物）

13:15　**招待講演 外来種問題概論　今井　仁**（一般財団法人自然環境研究センター）

14:00　**S1 河川環境の変化と外来珪藻の分布変化**

○福嶋　悟（藻類研究所分析センター）

14:15　**S2外来種ミズワタクチビルケイソウ（仮称）*Cymbella janischii* の現状と移入経路の 考察**

○洲澤多美枝・洲澤譲（(有)河川生物研究所）

14:30　**S3珪藻の外来種はどのようにして侵入しえるのか－他生物との関係で考える－**

○大塚泰介（琵琶湖博物館）

14:45　**S4本邦のDidymoの分布の現状について**

　　　　 ○辻　彰洋(国立科博・植物)・奥　修(ミクロワールドサービス)

15:00 総合討論

15:20 休憩・写真撮影

**＜ポスター発表＞** ○は発表者

16:00 - 16:50　P1 - P10（各発表5分）　座長(P1-5) 柳沢幸夫；(P6-10) 千葉 崇

P1　IODP Exp. 341 Scientists：IODP341次航海アラスカ湾U1418コア堆積物中の珪藻化石分析続報

○今野進・菅聖一郎・岡崎裕典（九大院・理）, 朝日博史（KOPRI），福村朱美（北大），松崎賢史（産総研），Alan C. Mix （OSU）, 須藤斎（名大・環境)

P2　唇状突起の形態と多様性

○阿部健太 (山形大･理工), Richard W. Jordan (山形大・理)

P3　地中海西部における珪藻微化石群集に基づくメッシニアン塩分危機の古環境復元

○近藤祐太・柳誠人(山形大･院・理工), Richard W. Jordan (山形大・理)

P4　地中海東部における珪藻微化石群集に基づくメッシニアン塩分危機以前の古環境復元

○柳誠人(山形大･院・理工), 石川まどか・Richard Jordan W. (山形大・理)

P5　西部太平洋およびインド洋東部の珪藻群集について

○藤田諒平(山形大･院・理工), Richard W. Jordan (山形大・理)

P6　新第三紀の海成堆積物におけるThalassiosirales目の分類・形態的進化

○阿部美保・Richard W. Jordan（山形大・理）

P7 フィンランド, Lehmilampi湖の珪藻化石群集

○組坂健人・福本侑・鹿島薫(九大・院・理), Timo Saarinen (Department of Geography and Geology, University of Turku, Finland)

P8 東シナ海男女海盆における最終氷期以降の珪藻化石群集

○代田景子・岡﨑裕典・今野進(九大院),久保田好美(科博),小田啓邦(産総研)

P9 *遠州灘およびオホーツク海沿岸の湖沼堆積物中から見出されたPlagiogrammaceaeの形態的特 徴*

○佐藤善輝 (産総研), 代田景子・今野進 (九大・院・理), 香月興太 (韓国地質資源研究院)

P10 オホーツク海における海氷被覆と珪藻群集の関係

○中村広基・岡﨑裕典・今野進(九大),中塚武(地球研)

16:50 ＜休憩＞

17:00 - 17:45 P11 – P19 （各発表5分）　座長（Ｐ11-15） 佐藤晋也； (P16-19) 豊田健介

P11パラオとグアムにおけるマングローブの付着性珪藻群集の研究

○田村枝緒莉（山形大・理工）, Rhichard W．Jordan（山形大・理）

P12南大洋インド洋セクターにおける海氷中から得た*Fragilariopsis*属の形態分類学的研究

○滝本彩佳・鈴木秀和 (海洋大・院・藻類),小島本葉(総研大),宮崎奈穂(海洋大･生物海洋),茂木正人(海洋大・海洋生物･極地研),小達恒夫(極地研・総研大),南雲 保(日歯大・生物),田中次郎(海洋大・院・藻類)

P13山形県小波渡産と秋田県男鹿産の海草アマモ葉上付着珪藻相

○劉 彩紅・滝本彩佳・鈴木秀和(海洋大・院・藻類),阿部信一郎(茨城大・教育),坂西芳彦(水研セ・日水研),南雲 保(日歯大・生物),田中次郎(海洋大・院・藻類)

P14滋賀県の水田で確認された珪藻

○富小由紀(滋賀大・教育),大塚泰介・中村優介(琵琶湖博物館),石川俊之(滋賀大・教育)

P15日本産メガネケイソウ科Pleurosigmataceaeの形態分類学的研究

○原 陽太・鈴木秀和(海洋大・院・藻類),松岡孝典・南雲 保(日歯大・生物),田中次郎(海洋大・院・藻類)

P16多摩川河口干潟の珪藻

○田口芳彦・真山茂樹(東学大･生物)

P17砂付着珪藻を砂粒表面で直接同定するための基礎研究

○高田千聡・真山茂樹(東学大･生物)

P18同一細胞から得た切片におけるオルガネラの蛍光染色像及びTEM像の観察

○北川夏帆・中村美穂・真山茂樹(東学大･生物)

P19 *Hydrosera*属の殻内面を被う新奇鱗片状プレートについて

○出井雅彦(文教大･教育･生物), 長田敬吾(日歯大・新潟･生物), 佐藤晋也(福井県立大), 南雲 保(日歯大・生物)

**第2日（11月8日（日））**

**＜口頭発表＞**　　○は発表者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（座長　伯耆晶子）

08:45 (O1) 珪藻被殻を裏打ちするDiatotepumの形態的多様性

　　○中村憲章・真山茂樹(東学大・生物), 前田義昌・田中剛(農工大), 藤本光一郎 (東学大・環境)

09:00 (O2) 干潟底生珪藻6種の塩分適応実験

　　○山本真里子(名古屋大), 辻彰洋(国立科博),千葉崇(筑波大),　杉谷健一郎(名古屋大)

09:15 (O3)　細菌と珪藻生殖

　　○佐藤晋也（福井県立大）

09:30 (O4) 珪藻および珪藻感染性ウイルスの自然水域からの検出定量法について

○豊田健介(日歯大・生物), 山田勝雅(水産総合セ・西海区水研), 長田敬五(日歯大・新潟・生物)

09:45 (O5)　海産珪藻*Berkeleya capensis* Giffenの形態と分類学的検討

○卜部隼太・鈴木秀和(海洋大・院・藻類),南雲 保(日歯大・生物),田中次郎(海洋大・院・藻類)

10:00 ＜休憩＞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （座長　辻 彰洋）

10:15 (O6)　北太平洋産ミンククジラにおける付着珪藻相

○加藤孝一朗(海洋大・院・鯨類), 鈴木秀和(海洋大・院・藻類),藤瀬良弘((一財)日鯨研), 木白俊哉(国際水研), 南雲 保(日歯大・生物), 加藤秀弘(海洋大・院・鯨類)

10:30 (O7) 東京湾京浜運河産藍藻*Lyngbya*上の付着珪藻相

○櫻井美樹\*・鈴木秀和(海洋大・院・藻類),豊田健介(日歯大・生物),福岡将之(海洋大・院・ 藻類),南雲保(日歯大・生物),田中次郎(海洋大・院・藻類)

10:45 (O8) 中禅寺湖から見出された *Stephanodiscus* 属の1分類群について

○田中宏之(前橋珪藻研),南雲 保(日歯大・生物)

11:00 (O9) 佐渡島の中新統中山層の珪藻化石

○柳沢幸夫・渡辺真人(産総研・地質情報研究部門)

11:15 (O10)太平洋岸における後期完新世の塩性湿地堆積物から産出した珪藻化石群集の特徴と共通性

○千葉崇 (筑波大)

11:30 大会閉会挨拶